



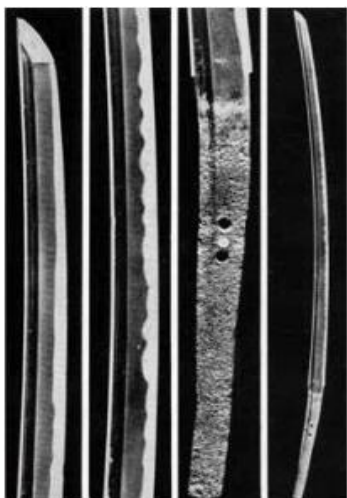


太刀 銘備前国長船住左近将監長光造



指定区分	国指定重要文化財(工芸品) 国宝
読みかた	たち めいびぜんのくにおさふねじゅうさこ んしょうげんながみつぞう
所在地	岡山市北区丸の内 林原美術館
指定年月日	昭和32年2月19日
解説	刃長78.7cm、反り2.7cm、鑄造、庵棟。鍛えは小板目肌がよく詰み、乱映りが立つ。刃文は丁字に互の目が交わる。鎌倉中期の初代長光の作で、抜群のできばえを示した一口である。
アクセス方法	JR岡山駅から徒歩25分／バス「県庁前」下車徒歩3分／路面電車「県庁通」下車徒歩7分
公開状況	林原美術館所蔵
設備	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>駐車場 </p> <p>障害者用駐車場 </p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>トイレ </p> <p>障害者用トイレ </p> </div> </div>
備考	

## きつずページ



していくぶん (指定区分)	国指定重要文化財(工芸品) 国宝
ぶんかざいめい (文化財名)	太刀 銘備前国長船住左近将監長光造
よみかた	たち めいびぜんのかにおさふねじゅうさ んしょうげんながみつぞう
しよざいち (所在地)	岡山市北区丸の内 林原美術館
していつひ (指定した日)	昭和32年2月19日
せつめい	日本刀(にほんとう)は、武器(ぶき)である とともに、すぐれた美術品(びじゅつひん) として認(みと)められています。古くから 刀工(とうこう)によって日本独自(どくじ) の作り方が受(う)けつがれています。銘 (めい)には作者の名前などが刻(きざ)ま れており、この刀は、鎌倉時代(かまくらじ だい)に岡山県の長光(ながみつ)という刀 工が作ったものです。岡山県の長船(おさ ふね)というところは、むかしからすぐれた 刀工が多く、刀でとても栄(さか)えました。